

# オスマン帝国から見た 近世地中海世界

参加費無料

■ 講師: 相磯 尚子

2021年11月27日(土) 14:00~16:00 Zoomにて開催 (ルームオープン 13:30)



オスマン帝国の首都・イスタンブル



エーゲ海の港ボドルムの海

プレヴェザ海戦やレパント海戦など、有名な海戦の舞台となった近世地中海世界の歴史は、しばしばヨーロッパの目線から語られてきた。しかし、その海の半分を掌握していたオスマン帝国の存在は無視できない。

本報告では最新の研究を紹介したうえで、オスマン語で書かれた行政文書を活用し、16世紀から17世紀にかけてオスマン帝国が関わった海の活動を描き出す。そのうえで、分析を試み、新しい環地中海世界史観への一助としたい。

## ■ 相磯 尚子 (あいそ なおこ)

日本海事史学会会員

2017年4月より慶應義塾大学大学院 後期博士課程在籍、2020年4月より日本学術振興会特別研究員。

小学生の頃ゲーム「大航海時代II」にハマリ、海と帆船への熱意を抱いたまま人生を突き進んだところ、なぜか博士課程にまで進学していた。

専門はオスマン帝国史。2018年9月よりトルコ共和国のイスタンブルへ留学し、2021年3月に帰国、コロナ禍にめげずなんとか得た留学の成果を示したい。

- 関心をお持ちの方ならどなたでもご参加いただけます。メールでお申し込みください。

※希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。  
お申込みいただいた方には11月24日(水)までにご連絡いたします。

- 会員にはメールでご案内をお送りしています。メールが届いていない方は、右の申込先までお問合せください。

■ 申込〆切: 2021年11月23日(火) 正午(12:00)

■ 申込先: [kaijishi.web@gmail.com](mailto:kaijishi.web@gmail.com) (担当: 大野)

メールの件名を「日本海事史学会 Web 例会申し込み (非会員)」として、本文にはお名前をお書きください。

[今後の例会 開催予定日: 12月18日(土)・2022年1月22日(土)]

日本海事史学会は、海事一般に関する歴史・法律・民俗・水産・考古・船舶・航海・海運など、海事史だけにとどまらずひろく海の人文学、社会科学等あらゆる分野に関心を持つ学界や在野の研究者の方々の交流をはかる総合研究の“場”です。

【主な活動】専門学術誌『海事史研究』の発行(年1回) / 総会(年1回)・例会(8月と総会開催月を除く年10回) など

